



## 新年のごあいさつ

飛驒市長

井上 久則

平成28年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

昨年は飛驒市が、「人口減少克服・地方創生」という構造的な課題に正面から取り組むため、核心に踏み込んだ政策「飛驒市人口減少対策実行プラン」を立案し、また第二次総合計画における後期5カ年計画がスタートいたしました。年末には「飛驒市まち・ひと・しごと創生総合戦略計画」をまとめ上げました。今後これらの計画を着実に実行することにより、飛驒市の活性化が図られるものと確

信しております。

私も就任して8年目を迎えました。次代を担う若者が安心して後を継げる土台を作るのは、私たちの使命であると考えていました。合併したからと言って裕福になつたわけではありません。大きな花火を上げる前にしなければならぬ大切なことは、花火を上げるための土台作りであります。私のこの8年間は、ひたすら飛驒市が自治体として安定し、更に発展する土台を作るために、今やらなければならぬ事業を実施し、様々な改革を行うことに集中してきました。飛驒市が採った新設合併とは、それぞれ別々であった自治体の風土、気質から、事業の進め方を、新しく一つにすることであります。それぞれの考え方で決められていたことを統一するため、様々な問題が生じましたが、市民の皆様のご理解と協力によって課題解決は、概ね目途が立ったと考えています。

また懸案であった財政についても、就任時27億円であった一般会計の財政調整基金は、80億円にまで増やしました。財政調整基金を含む積立基金総額も144億円に達しています。一方就任時に39

4億円あった、借金である起債は今年度末には343億円まで減らすことができる見込みであります。

この8年間で振り返ると、教育では学校支援員を増員し、またスーパードキア数学級を実施し、子どもの学力向上を図りました。福祉の分野では、飛驒吉城特別支援学校を誘致し、障がい者の自立支援を目的としたNPO法人も立ち上げました。極め細かな福祉施策を展開してきたと思っております。

小中学校の耐震化に伴う整備と3つの中学校の統合、保育園の整備、ごみ焼却場の改築、リサイクルセンターの建設、宮川振興事務所、神岡福祉センター複合施設や神岡給食センターなどを整備しました。神岡振興事務所の耐震化も今年度中には完成します。道路整備では、古川南部農免道路、基幹農道神岡地区が完成しました。

国道41号の神岡以北防災事業など未着工の道路など残っておりますが、それでも事業に採択され調査に入りました。神岡町の地下実験施設の研究によって、梶田隆章先生がノーベル物理学賞を受賞されました。そして重力波の直接観測を目指す「KAGRA」が試験観測に向け第一期工事を完成

しました。東京大学の先生方と霞ヶ関で要望活動を行っていたことを考えると感慨無量であります。さらには「ハイパーカミオカンデ」が早ければ平成30年には事業に着手することとなります。

また、皆様にご心配をおかけしておりました古川町数河の産業廃棄物処理施設が事業計画については事業者が市の要請を受け入れ、中止を決定しました。

飛驒市にはまだまだ大きな課題が残されていますが、次を担ってくれる若い世代へ引き継ぐ環境は整ったと思っております。そして、市内には若者が問題を提起し、様々な活動を始めています。時代の節目を迎えたと実感しています。そこで私は、今限りで退任することとしました。これまで飛驒市のためにご支援、ご協力を頂きました皆様、心から感謝と御礼を申し上げます。飛驒市が市民にとってより住み良く、活力ある魅力溢れる町になることを心から願っております。

結びに新しい年が皆様にとって幸多き年となりますことを心より祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



## 飛騨市は世界の 先端科学研究拠点へ

飛騨市議会議長

葛谷 寛徳

あけましておめでとうござい  
ます。輝かしい新春をご家族お揃い  
でお迎えのことと、心からお慶び  
申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代表し  
新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、平素議会活動  
や議会運営に對しまして、温かい  
ご支援ご協力を賜り、心から感謝  
を申し上げます。

昨年は、何と言ってもニュート  
リノ研究で知られる梶田隆章・東  
京大学宇宙線研究所所長が、ノー  
ベル物理学賞を受賞された事  
です。

超新星爆発で生じたニュートリ  
ノを世界で初めて観測され、平成  
14年にノーベル物理学賞を受賞さ  
れた小柴昌俊先生以来、飛騨市に  
とって2人目の快挙でありまし  
た。

世界最先端の研究施設・スーパ  
カミオカンデでの研究成果が、こ  
のたびの受賞に繋がったことは飛  
騨市民の誇りであり、大変名誉な  
ことであります。今月25日には飛  
騨市の名誉市民として顕彰し、岐  
阜県からは県民栄誉大賞が贈られ  
ます。

これにより、スーパーカミオカ  
ンデの20倍の規模とされるハイ  
パーカミオカンデの早期着工が期  
待されます。また、梶田隆章先生  
が率いている大型低温重力波望遠  
鏡「KAGRA」の第一期工事が  
完成しました。重力波を直接捉え  
れば、ノーベル賞が確実だと言わ  
れています。

他にも、ダークマター（暗黒物  
質）の正体を探るエックスマスな  
ど、大型研究施設が数々あります  
ので神岡を宇宙物理学の研究拠点  
として、先端科学都市構想の実現  
に、全力で取り組まなければなり  
ません。

昨年、古川祭を紹介する展覧会  
「日本国家重要無形民俗文化財特

展・古川祭」が台湾の台中市で開  
催され、6万人の来場者があり、  
大変な賑わいでした。今年の秋に  
は、古川祭の起し太鼓・屋台行事  
が対象となる、ユネスコ無形文化  
遺産登録に向けての可否に関する  
審議が行われる予定ですから、地  
域の活性化が大いに期待できます。

我が国の経済は、中国経済の減  
速が懸念される中で、輸出を中心  
とした大企業の業績は好調のよう  
ですが、中小の企業が点在する地  
方経済を取り巻く環境は、依然と  
して厳しい状況にあります。

飛騨市にとって最重要課題であ  
る、人口減少と少子化対策は、総  
合戦略の策定が進む地方創生と合  
わせ、取り組まなければなりません。  
先行して、人口減少対策実行  
プランを策定し、若者世代の市内  
定住や移住の促進、子ども入園、  
入学祝い金制度の導入など、将来  
を担う若い世代を積極的に応援し  
てきました。

農業の振興では、飛騨地域トマ  
ト研修所を開設し、新規就農者の  
確保や畜産の後継者を支援する事  
業に取り組みましたが、TPOP交渉  
が大筋合意されたのを受け、国内  
農業に對する万全な対策を求める  
意見書を12月議会で国に提出しま  
した。

古川町数河地内での産業廃棄物  
処理施設の建設計画では、市民よ  
り多くの反対署名が提出され、心  
配をかけておりましたが、昨年の  
12月議会におきまして、市長から  
事業者が計画を撤回し、県に事業  
計画書の取り下げ手続きを行うと  
の報告がありました。飛騨市の美  
しい自然が守られ、市民の皆様に  
感謝を申し上げます。

飛騨市クリーンセンターの火災  
については、出火原因の特定には  
至らず、市民の皆様には大変ご迷惑  
を掛けておりますが、復旧に向け  
た工事が開始されたところです。

終わりに、我々議員にとりまし  
て任期まで2カ月余りとなりまし  
たが、議員定数を3名減員し、14  
名の議席で選挙が行われます。こ  
れまでの4年間、市民の皆様にご  
協力いただきましたことに、心か  
ら御礼を申し上げます。新しい年が皆  
様にとりまして、幸せで実り多い  
年となりますこと、議員一同、心  
よりご祈念申し上げます。新年のごあ  
いさつといたします。

